

平成27年度以降のCCラボ・WS等の進め方（案）

（１）全体WS

意見やアイデアを得るための場 → 様々な活動情報得る場、全体への情報発信の場

全体WSやテーマ別WS（コミュニティ活性化、駅前活性化）での様々な意見やアイデアは、フィールドワークを中心としたオープンWS（らくらく洋光台）やCCラボでの様々なコミュニティ活動へと展開が広がり始めた段階であり、当面は意見交換の場としての全体WSの役割はない。今後は、様々な活動情報を分かりやすく得る場、全体への情報発信の場として全体WSを機能させたい。開催時期は、発信した情報を住民が効果的に活用できるよう、地域全体をまとめる「まちづくり協議会」の総会の一ヶ月前ごろとしたい。

（２）未来WS

各地域で現在行われている活動の課題や可能性を探る

各地域の状況（求めるもの、人材、場のあり方など）に即したコミュニティ（まとまり感、つながりなど）を支えるための仕組みづくりを目指し、各地域で現在行われている活動の課題や可能性を探り、今後の様々な展開へと結びつけたい。

<現在の作業状況>

1丁目元町会長（松浦さん）、3丁目町会長（南さん）に、地域の色々な話を聞きたいと相談済み→日程調整

まちづくり協議会の三上会長に夢環境部会の活動に参加させて欲しいと相談→2月23日の夢環境部定例会に参加予定

（３）ラウンドテーブル

情報交換やつながる場 → 必要に応じて意見交換

これまで、CCラボ利用者同士の情報交換やつながることを目的とし、3ヶ月毎にCCラボ利用者が集まるラウンドテーブルを実施（3回）してきたが、常連のCCラボ利用者が多くなり、CCラボ利用者同士の情報交換やつながることについては、ラウンドテーブルの役割は小さくなっている。今後は、個別のCCラボ利用者からの意見（利用者アンケート含む）を踏まえ、CCラボ利用者同士の意見交換が必要と思われる状況が発生した場合に適宜開催することとしたい。なお、1年間の節目として4月以降に第4回ラウンドテーブルは実施。

（４）CCC

イベント開催のための有志の集まり → グループ同士のコラボ活動

CCCは、CCラボ利用者の有志（14グループ）が集まり、1年間のCCラボでの成果を発信するためにイベントを開催（4月に約1ヶ月間）するための集まりで、その後の展開は不明である。今後の展開によっては、CCCがCCラボの活動を支える母体となる可能性もあるが、まだ、組織のまとまりや維持管理体制が整ってないし、各グループが目指す方向性も様々であることから、一つにまとまることよりも、意気投合したグループ同士のコラボ活動が期待される。（コラボ活動が展開できる場の提供として洋光台大学が考えられる）

（５）洋光台大学

５月以降事務局利用として月６日間の開催を目指す

洋光台エリアのコミュニティ活性化に向けて、様々なコミュニティが出会いまとまることが必要であり、そのような場の提供として大学的なイメージのあるプログラムを実施する。当面は、ショートラボを中心に５月以降に事務局利用として月６日程度の活動を目指したい。

大学のスタイル例

単科大学の一部（学部＞学科＞専攻・研究室）から開設。中身が濃くなったら総合大学を目指す。

○文化学部祭り学科：地域イベントの企画・運営

○芸術学部

アート・工芸学科：ワークショップと制作過程の見学可能な内容

手づくり学科：手づくり教室／制作過程の見学可能なクラフト等

○社会学部社会環境学部空間学科らくらく研究室

情報学部情報デザイン学科

（６）イベント

集客が期待できるイベントや取組み姿勢を表現しやすいイベントの開催（３回？）

ルネッサンス in 洋光台の取組みやＣＣラボの認知度も徐々に高まっているものの、まだまだ知らない地域住民がいること、ＣＣラボでの活動への参加者が少ないこと、広域での認知度を高める必要があるなど、積極的なＰＲが必要であり、その仕掛けの一つとして集客が期待できるイベントや取組み姿勢を表現しやすいイベントを開催する。

イベント例：ハロウィン、地球と人にやさしい環境展、洋光台ピクニック、大学祭等

（７）２７年度ＣＣラボ使用ルール

１：利用期間延長

コミュニティが担うまちづくりでの役割も、様々な可能性があると思われることから、新たなコミュニティ活動の試行的実施の場としてＣＣラボの利用を１年間（平成２８年３月３１日まで）延長。

２：Long Lab と Short Lab の利用期間、申込可能日の変更

ロングラボは、より計画的で充実した活動が行えるよう１～３ヶ月間（１ヶ月 or ２ヶ月 or ３ヶ月）での使用に変更。

ショートラボは、より多様な活動が行えるよう曜日指定での使用も可。１日及び２日～７日の連続以外に連続しない４日までの使用を追加。例えば、毎週水曜日の４日間など。

以上